

学校便り 5月号

令和4年4月25日発行

和歌山市立岡崎小学校

学校長 塩谷 通功

今、出来ることを精一杯・・・

毎日が過ごしやすい季節になってきました。春の陽気に誘われるように、子供達も運動場で元気に遊ぶ姿が目立ってきています。

新校舎等の工事も無事終了し、令和4年度がスタートできました。夏休み以降には、北校舎1、2階のトイレ工事が予定されています。少し、ご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、よろしくお願いします。

日本のプロ野球界では、千葉ロッテマリーンズの佐々木朗希選手が、完全試合を達成するというニュースがありました。佐々木選手は、次の試合でも8回終了まで一人の走者も許さない快投を演じ、話題になりました。海外でも、今シーズンからメジャー入りしたカブスの鈴木誠也選手が開幕から好調を続けていることやパドレスのダルビッシュ選手がメジャー通算80勝目を挙げたりと連日のように日本人選手の活躍が報道され、元気づけられています。

コロナの収束におきましては、今年度こそはと淡い期待を持ちながらスタートしましたが、一向にコロナの収束が見えてきません。感染状況も厳しい状況が続いており、先日も4月の授業参観を中止せざるをえない状況となりました。保護者の皆様には、子供達の学びの様子をご覧いただけず申し訳なく思っています。

4月27日(水)からは、家庭訪問をさせていただく予定にしています。ご希望のあったご家庭を短時間ではありますが、訪問させていただきます。今回の訪問では、お子様のことをお聞かせいただく機会と考えておりますので、よろしくお願いします。

昨年度もそうでしたが、様々な学校行事を予定していても、コロナの影響を受け、その都度、行事の中止や延期をしなければならない状況となっています。コロナ禍3年目を迎え、正直心が折れそうになることもありますが、その度に子供達の明るい笑顔に励まされ、自分を奮い立たせています。

コロナ収束後の教育活動もイメージし、教職員とともに知恵を絞りながら日々取り組んでいきたいと考えています。

引き続き、ご支援ご協力のほど、よろしくお願いします。